

日時 令和2年(2020年)9月8日(火) 13:00～15:00

場所 北海道釧路養護学校 校長室

出席者 学校運営協議会委員 新橋第一町内会長 高橋 實 様
 北海道社会福祉事業団白糠学園長 細川 和則 様
 ゼペットの会会長 佐藤 みちる 様
 釧路孝仁会看護専門学校副学校長 楠木 恵子 様
 北海道釧路養護学校PTA役員 八幡 百合香 様 (欠席)
 北海道教育大学釧路校准教授 小野川 文子 様
 障がい者就業生活支援センター「ふれん」センター長
 高谷 さふみ 様

北海道釧路養護学校 校長 小笠原 正樹 (委員)
 副校長 齋藤 利文
 教頭 三浦 一仁
 事務長 山本 哲功

日程及び内容

- 13:00～ 開会・日程説明 副校長
 発令通知(辞令交付) 校長
- 13:05～ 校長挨拶 校長
- 13:10～ 自己紹介 各委員・職員
- 13:15～ 北海道立学校における学校運営協議会の設置等に関する教育委員会規則について
 副校長 資料配布
- 北海道釧路養護学校 学校運営協議会規約について
 副校長 資料配布
- 会長及び副会長選出
 会長 小野川 文子 委員 副会長 高谷 さふみ 委員 満場一致
- 北海道釧路養護学校 学校運営協議会の設置について
 副校長 資料配布・PC画面
- 質疑
 佐藤委員 今後の協議会の開催時に各部会も併せて行うのか
 →そのように考えている
- 高橋委員 各部会に教職員は入るのか
 →支援部会は委員と教職員の協働で、評価部会は教職員主体で考えている
- 13:55～ 休憩
- 14:05～ 令和2年度学校経営方針の概要について 校長 資料配布・PC画面
- 14:40～ 意見交換・質疑
 小野川委員 コロナウイルス感染症対策の具体的な課題等は
 →管理職からのメッセージの発信をとの職員からの要望があった
 教職員による自発的な取組として、オンライン動画の企画、
 フェイスシールド・衝立の制作が行われた

6月時点で「学校再開に向けて」により具体策を示した
P T A活動による協力として教室・バスの消毒作業の手伝いが検討されている
スクールバスの登校時の密対策が課題
修学旅行の行先変更を全ての対象旅行で行った
コロナウイルス感染症の理解度について教職員間の温度差がある
基準を設けた対応が必要
児童生徒の生活リズムの変化への対応
学校内のW i f i 環境が整備されることとなった

- 楠木委員 一般の方でもコロナウイルス感染症への意識の差を感じる
ここの学校は寄宿舎もあるので対応の難しさがあると思う
- 佐藤委員 教職員のプライベート時のコロナウイルス感染症のリスク等へ注意喚起を
- 細川委員 当施設では、先の見えないことへの不安が大きく、今でも続いている
行事も縮小せざるを得ないが、福祉施設としてできることをクラスターに留意し
つつ模索している
- 佐藤委員 根拠のある個別指導による子どもの成長を説明してもらえるのは大変ありがたい
- 高橋委員 学年・学部進行で継続していくことを大切に、引継ぎの周知徹底を
- 高谷委員 働き方改革について、この協議会ができることを一緒に同じ目標、役割分担で進
めたい
- 副校長 今後長期的に見据えて連携をお願いしたい
根釧地区のニーズを汲んで見守っていきたい
- 小野川会長挨拶 皆さんの協力をお願いしたい
学校は地域の社会資源
過去のブラックボックス状態から、開かれた学校へと変わってきている
寄宿舎指導員の経験から、寄宿舎が設置されていることを活かした経営を
自身でプロデュースする力が問われている
実行力のある協議会としていきたい

15:00 閉会